

千葉県議会議員(花見川区)

だんぎ和彦

☞ PTA 会長を拝命していたときに小学生だった女の子が赤ちゃんを連れて遊びに来てくれました。

少子化対策について

現在、「異次元の少子化対策」と称し少子化対策が議論されております。財源については、4 月以降に明示するとのことですが、児童手当など経済的支援の強化、学童保育や病児保育・産後ケアなどの支援拡充、働き方改革の推進などを柱として、政府は新たな会議を立ち上げ、3 月末までに少子化対策のたたき台をまとめる方向とのことです。

私どもの地域におきましては、以前より年少人口の減少が顕著であり、私も平成 30 年第 1 回定例会の一般質問「花見川区の諸問題について」で人口動向を取り上げ、少子化について質問を行いました。

花見川団地内の小中学校では学校適正配置による統合が進んでおり、平成 18 年の第四小学校と第五小学校の統合による「花島小学校」の開校を皮切りに、平成 27 年の一中と二中の統合による「花見川中学校」、平成 29 年の一小と二小の統合による「花見川小学校」、そして新年度には花見川第三小学校と花島小学校の統合により、新「花島小学校」が開校いたしますが、統合校でも児童・生徒数が減少しております。また年少率が、社協の花見川第 2 地区部会で 5.8%、花見川地区部会でも 7.3%と数字（令和 4 年 12 月 31 日現在）にも表れています。

昨年の第 4 回定例会の一般質問でも、少子化対策として「産後ケア」について取り上げましたが、現在、本市で実施している結婚新生活支援事業、第 4 回定例会の追加補正で可決された少子化対策も含め、妊娠・出産・産後ケア・子育てについての継続的な支援の拡充など、今後も根本的な本市における少子化対策を提案して参りたいと思います。



新たなモビリティサービスについて

昨年公表された「千葉市地域公共交通計画」の中でも「支え合い交通」について触れられていますが、既存の路線の維持が困難な地域や、公共交通へのアクセスが困難な地域などにおいて、住民協働により、地域の状況に応じて導入検討を行うとされており、都賀の台・こてはし台・幕張ベイタウンでのグリーンスローモビリティ、緑区高津戸町地区におけるデマンド型交通導入、幕張新都心における自動運転バスや「幕張新都心版 MaaS」の検討など、様々な実証実験が行われており、既存公共交通と調和して地域の暮らしを支える試みが進められております。



グリーンスローモビリティ

花見川団地におきましても、昨年5月に自動運転バスの実証実験が行われており、今後も地域と病院や交通結節点を結ぶ試みは必要と考えます。まだまだ課題も多いと思いますが、今後の転機に期待し地域の声をいただきながら提案して参ります。

花見川の諸問題について

花見川スイミングクラブがある花見川公民館前交差点の信号から、大和田方面に向かい柏井町 T 字路の時差式信号までの道路は、黄色のセンターラインが消えている部分も多く、以前より地域の方から危険であるとのこと指摘をいただいております。建設局や土木事務所に何回か申し入れておりましたが、この道路につきましては以前から道路の一部補修を土木事務所に要望しており、来年度



花見川公民館前信号

前半迄には補修工事が行われることから、補修工事と併せてセンターラインが引き直しされます。

また、残りの区間につきましては、土木事務所が警察と調整し、警察にて来年度中にはセンターラインの引き直しが行われるとのことです。

だんぎ和彦事務所では、皆様からのご意見・ご相談・お問い合わせをお待ちしております。

皆様のお困りごとや地域の課題を行政につなぎ、解決に向け提案させていただきます。

だんぎ和彦事務所

TEL ; 043-258-0958

FAX ; 043-286-9312

携帯 ; 090-2325-3683

E-mail : dangi.s@coda.ocn.ne.jp